第107号　2024(令和6)年 7月15日

跡見学園女子大学 学報

新座キャンパス

2024（令和6）年3月18日（月）に第56回学部卒業式･第18回大学院修了式が文京シビックホール（文京区）にて、また2024（令和6）年4月3日（水）には第60回入学式が本学新座キャンパスにて挙行されました。両式ともに新型コロナウイルス感染症の流行以降、はじめて式場内に学生だけでなく保護者の皆様にもご参列いただき、卒業と入学の門出をともにお祝いすることができました。

新学期には桜の花びらが美しく舞う新座キャンパスで、ベンチで友人たちとの会話を楽しむ1.2年生の姿が多く見られました。学生会館の建設やお手洗いの修繕（新座キャンパス）、キッチンカー・オフィスグリコ（文京キャンパス）の導入、ベンチ・日除けの設置など、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除に伴い、本学では学生の皆さんがキャンパス内で楽しく･快適に過ごせる環境づくりにも力を入れています。教職員一同、これからも学修・生活の両面で学生の皆さんのキャンパスライフの支援に努めてまいります。今後とも、保護者・関係者の皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

記事内容

○学長挨拶　○役職者一覧（2024年4月1日現在）…… 2
○～学園創立150周年記念～跡見学園女子大学×『はいからさんが通る』ラッピングバスが運行中！
○「桜まつり」開催＆桜鑑賞のための一般開放を実施しました　○紫祭（大学祭）のご案内 …… 3
○国際交流活動の紹介 …… 4～5
○地域交流活動の紹介 …… 6～7
○跡見花蹊記念奨学生表彰　○跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰 …… 8
○学生会情報　○CLUB NOW　○就職部の取り組みについて …… 9
○2023（令和5）年度就職活動総括と今後 …… 10
○2024（令和6）年度入試総括　○跡見校友子女推薦入学試験のご案内 …… 11
○2024（令和6）年度新任教職員紹介　○2024（令和6）年度名誉教授　○大学を離れた方々 …… 12～13
○オープンキャンパスのご案内　○情報メディアセンターからのお知らせ …… 14
○図書館トピックス　○2023（令和5）年度第56期卒業生の記念品寄贈について
○科目等履修生のご案内　○2024（令和6）年度行事予定 …… 15
○花蹊記念資料館コレクション　○公式SNS紹介 …… 16

学長挨拶

ご挨拶

跡見学園女子大学　学長
小　仲　信　孝

2020年に始まったコロナ禍がようやく終息しました。コロナという感染症が消滅したわけではありませんが、ほぼ本来の教育環境を取り戻しています。授業形態は対面に、学生会活動やクラブ活動は制限なしに。学内は、コロナの時代が嘘であったかのように平穏です。

一方、学外に目を転じると、いま、女子大に対する強い逆風が吹いています。少子化、共学志向の高まりによって志願者が減少し、女子大の存在そのものを否定する声も聞こえてきます。そうした厳しい時代状況にあって、女子大はどのように存続していくのか、本学もその答えを出さなければなりません。

2025年、跡見学園は創立150年を迎えます。跡見花蹊が日本で初めて私立の女子教育機関「跡見学校」を設立したのは、女子教育が産声を上げて間もない1875（明治8）年でした。それから今日に至るまで、跡見は一貫して女子教育のパイオニアとして歴史を刻んで来ました。その歴史を大転換して新たな道を歩むのか。すなわち共学化です。実際、共学化に活路を求める女子大があることは承知しています。ただ、それが本学にとっても正しい選択といえるでしょうか。

女子大の存在価値は他でもありません。女性のみが学ぶ教育環境を提供している、という点にあります。大学の4年間、学生の皆さんは学業を通して、さらには学内外での社会体験を通して、将来の目標を明確化していきます。多様な選択肢がある中、どうような職業に就き、どのような人生を送りたいかを決定することは容易ではありません。答えをみつけるためには自分と徹底的に向き合うことが必要となるでしょう。そのとき同性だけという環境が生きてきます。ジェンダーバイアスのない女子大ならば、自然体で自分自身と向き合うことができるからです。女性にまつわる固定的な観念に囚われることなく、自分らしいキャリアデザインを実現していくのにもっとも適した空間、それが女子大ではないでしょうか。

跡見学園女子大学はこれからも女子教育機関として歴史を刻み続けます。学生の皆さんには、女子大学という教育空間を存分に生きてほしいと願っています。常識から解き放たれ、新たな可能性を拓くために、臆することなく自分自身に挑戦することを期待しています。

令和6年度入学式の様子

役職者一覧（2024年4月1日現在）

- 学長 …… 小仲　信孝
- 副学長 …… 塩月　亮子
- 副学長 …… 石田　信一
- 文学部長・人文科学研究科長 …… 森　まり子
- マネジメント学部長・マネジメント研究科長 …… 曽田　修司
- 観光コミュニティ学部長 …… 佐野美智子
- 心理学部長 …… 松嵜くみ子
- 全学共通科目運営センター長 …… 西田　晴美
- 図書館長 …… 丸岡　吉人
- 花蹊記念資料館長 …… 横田　恭三
- 情報メディアセンター長 …… 板東　充彦
- 心理教育相談所長 …… 下山　晴彦
- 地域交流センター長 …… 土居　洋平
- 事務局長 …… 大森　一枝
- 教務部長 …… 坪原　紳二
- 学生サポートセンター長 …… 櫻川　幸恵
- 就職部長 …… 石渡　尚子
- 入試部長 …… 照井　和尋

～学園創立150周年記念～
跡見学園女子大学×『はいからさんが通る』ラッピングバスが運行中！

2025（令和7）年の跡見学園創立150周年を記念し、西武バス株式会社が運行する路線バスに漫画『はいからさんが通る』（作：大和和紀）の主人公・花村紅緒をモデルに起用したラッピング広告を掲出しています。同作中で花村紅緒が通う「跡無女学館」は、跡見花蹊（跡見学園創立者）が創立した「跡見学校」がモデルといわれており、学園創立150周年を記念したコラボ広告が実現しました。袴に用いられる矢絣（やがすりがら）柄と「打ち破れ、自分。」がひと際目を引くデザイン仕様です。2024（令和6）年4月から約2年間、西武バス東京・吉祥寺～埼玉・新座栄区間のほか、三鷹、阿佐ヶ谷、和光市、成増駅発着の路線を運行します。お近くに立ち寄った際には、ぜひ探してみてください！

「桜まつり」開催＆桜鑑賞のための一般開放を実施しました

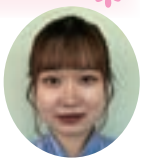
2024（令和6）年3月23日（土）新座キャンパスにて「桜まつり」を開催しました。「桜まつり」は、新座キャンパス構内を一般の方に開放し、多彩に咲く桜の様子と出店や大学独自の企画などをお楽しみいただくイベントです。春の恒例行事でしたが、コロナ禍を経て、5年ぶりの開催となりました。当日は、一紫会（跡見校友会）による跡見グッズの販売や地域の方や福祉団体による野菜、工芸品、飲食物の販売、お香の香りを楽しむ香席体験、ウィンドオーケストラ部による演奏、令和6年能登半島地震災害支援古本市*などの出店・企画が催されました。例年よりも桜の開花が遅く、見頃よりも早い時期での開催でしたが、近隣、及び遠方より多くの方々にご来場いただきました。

また、2024（令和6）年3月23日（土）～5月15日（水）の期間、桜鑑賞のための新座キャンパス構内の一般開放も実施し、46種約200本の桜が咲く新座キャンパスの様子を多くの方々にご鑑賞いただきました。2025（令和7）年の「桜まつり」、及び桜鑑賞のための一般開放については、予定が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

＊令和6年度能登半島地震災害支援古本市にて集まった義援金（総額43,399円）は日本赤十字社に寄附しました。皆様のご協力ありがとうございました。

紫祭（ゆかりさい）（大学祭）のご案内

紫祭実行委員会　委員長　**角田　美羽さん**



ごきげんよう。紫祭実行委員会です。昨年度の紫祭は「桜華～繋がりを紡ぐ～」をテーマに開催しました。沢山のご来場者にお越しいただき、活気ある第56回紫祭となりました。

さて、2024（令和6）年の紫祭のテーマは「桜雲～咲き誇る1ページに～」に決定しました。桜雲とは、桜の花が一面に咲き続けていて、遠方からは花の雲のように見えることです。空一面に咲き誇る桜を見ることができたら、眼福ではないでしょうか。跡見学園女子大学は1年を通して桜が咲いていることから、ご来場者の方や紫祭にご参加してくださる団体、紫祭を運営する上で携わってくださる外部の方など、様々な方との関わり合いを創り出す第57回紫祭を「桜雲」と捉え、今年度のテーマにしました。また、本学に咲き誇る桜と紫祭を運営していく上で携わってくださる皆様方との繋がりを「咲き誇る」とし、ご来場いただいた方々の思い出の1ページを飾ることができたらいいなという願いを込め、サブテーマを「咲き誇る1ページに」にしました。

今年度も調理を伴う模擬店やご来場の方々にも楽しんでいただけるような企画を沢山ご用意しています。また、他大学の方をお呼びしてパフォーマンスをしていただく新企画もご用意しました。昨年度よりもさらにパワーアップした紫祭をお見せできるかと思います。紫祭実行委員会をはじめ、参加団体一同、精一杯頑張りますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。どうぞご期待ください！

2024（令和6）年度
紫祭開催日程

2024（令和6）年
10月26日（土）・27日（土）
@新座キャンパス

国際交流活動の紹介

2023（令和５）年度　春期海外研修終了報告

2024（令和6）年２～３月、春期海外研修を実施しました。アメリカ、ドイツ、台湾の３つの国・地域で計18名の学生が３～４週間の充実した時間を過ごしました。ホームステイや現地の学生との交流など、多くの機会に恵まれた海外研修となりました。

アメリカ・ローワーコロンビアカレッジ

研修日程　2024(令和6)年2月18日(日)～3月11日(月)
（23日間）
参加学生　9名

バスケットボールチームの選手と記念撮影

ドイツ・ミュンヘン大学

研修日程　2024(令和6)年2月11日(日)～3月11日(月)
（30日間）
参加学生　4名

研修参加メンバーと記念撮影

台湾・国立台湾師範大学

研修日程　2024(令和6)年2月18日(日)～3月9日(土)
（21日間）
参加学生　5名

中国語での授業中の様子

2024(令和6)年８～９月にかけて、夏期海外研修を実施します。研修先・参加学生数は下記のとおりです。

・イギリス　スターリング大学 …… 4名
・フランス　西部カトリック大学 …… 7名
・台　　湾　国立台湾師範大学 …… 3名
・韓　　国　東義大学校 …… 19名

2024(令和6)年度春期海外研修については、10月頃ポータルにてご案内します。

また、Microsoft Teams「国際交流Information」で国際交流に関する情報を随時発信しています。

海外研修や英会話サロン、韓国語サロンなど国際交流に興味がある方はTeamsもご覧ください。

チームコード：xbmva5o

英会話サロン・韓国語サロンのご案内

誰でも気軽に英会話や韓国語会話を楽しめる場として、「英会話サロン」「韓国語サロン」を開室しています。

いずれも授業とは違った雰囲気で、「より自然な会話」を身に付けるため、ネイティブの先生が担当し、自分が好きなものや身の回りのことについて様々なテーマで話しています。

英語や韓国語が苦手な学生にも、「つたない話し方でも伝わったことが自信につながる」と評判です。

英会話サロンは週４回の対面（各キャンパス）と、週１回のオンラインで実施しています。韓国語サロンは週に１回、各キャンパス交互に対面で実施しています。学生はすべて無料で参加することができます。今後も、学生のニーズに合わせてより充実した外国語サロンを実施しますので、学生のみなさんの参加をお待ちしています。

中長期留学を振り返って

2023（令和5）年度に半年～１年間の留学をした学生が無事帰国しました。アメリカ・フランス・韓国の３か国に計３名が留学しました。中長期留学を振り返った感想をご紹介します。

観光コミュニティ学部観光デザイン学科４年　福井里紗さん

私は１年間アメリカのワシントン州にあるLower Columbia Collegeに留学しました。たくさんの素敵な先生や友達に出会うことができ、日本に帰国する日には寮のみんなと大号泣しました。１年間の留学を経て英語力が向上したのはもちろんですが、世界中にかけがえのない友達を作ることができました。留学する前は１年間も自分がアメリカでやっていけるのかという不安があったり、金銭面から半年間にしようかと考えたりもしましたが、今となっては１年間留学することを決断した過去の自分に感謝したいです。

１年間の留学で一番心に残っていることは、Lower Columbia Collegeのsymphonic band clubに所属して活動したことです。中学生の時に吹奏楽部でフルートを演奏していた経験を活かし、クラブに入りました。直接クラブの担当の先生に会いに行き、入りたいという意思を伝えて個人レッスンを受けることを条件にクラブに入ることができました。渡米してすぐの頃は英語で満足にコミュニケーションをとれるレベルではなかったのですが、どうしてもクラブに入りたいという強い思いがあり実現することができました。最後の演奏会には友達や現地でお世話になった方がみんな見に来てくれて、すごくよかったとたくさん褒めてくれ、大きな達成感がありました。

Lower Columbia Collegeで出会った友達とは今も連絡を取り続けていて、夏にも会う予定があります。国が違うと簡単に会うことはできませんが、遠く離れた土地で友達が頑張っているということが、自分も負けないように頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

心理学部臨床心理学科４年　佐藤ひかりさん

私は跡見の授業で初めてフランス語を学び、文化と言語の面白さに惹かれて留学を意識するようになりました。留学前は日常会話もままならないほどの語学力でしたが、「後悔する前に今挑戦したい！」と思いきって休学し、留学を決めました。

４ヶ月間の留学を通して初級のコースを修了し、簡単な日常会話や現地の友人とのコミュニケーションを楽しめる程度に語学力が向上しました。留学準備から帰国までの過程はとても刺激的で、何ものにも代え難い経験だったと感じます。語学学校のクラスでは、異なる８カ国から学生が集まるグローバルな環境でした。自分の語学力の低さにがっかりしたり消極的になったりすることもありましたが、前向きに努力する友人たちに何度も励まされました。さらに現地学生が多く滞在する寮で過ごしたこと、語学学校でフランス人と交流する機会が多くあったことで、日常的に楽しくコミュニケーションを取ることができました。次第に耳が慣れていき、少しずつ話せるようになる感覚がとても嬉しかったです。そして慣れない生活では予想外の出来事も沢山起こりました。文化の違いから、宗教、人種、移民などの国際問題をより身近に考えるようになりました。外国人留学生として生活して初めて自分の価値観やものの見方に気づき、発言や思想を見つめ直す良い機会となりました。

これらの経験や夢中になって努力した経験、フランスで出会った様々な景色、そして友人たちは、私の中でとても大きな財産です。語学面はまだまだ課題ばかりですが、今回の経験をモチベーションに、これからも勉強を続けていきたいです。

マネジメント学部マネジメント学科４年　山本シャイラ舞さん

私は2023（令和5）年３月から１学期間（20週間）、韓国・釜山にある東義大学校に留学をしました。以前から持っていた留学したいという思いと、第二外国語として履修していた韓国語と韓国文化への興味が重なり今回の留学が実現しました。

私はこの留学で語学力の向上とともに、多くの貴重な経験と学びを得ることができました。東義大学校併設の語学堂での授業と東義大学校の専門科目を通して、韓国語の基礎から専門的な単語まで幅広く学ぶことができ、さらに語学だけでなく時事や文化についての知識を深めることができました。学校の外でも現地の方を相手に実践的に韓国語を使い、自分の語学力を積極的に試すことができました。また実際に生活してみて習慣や文化の違いについて身をもって学んだり、環境に適応する力や行動力を養ったりと、自身の成長において有意義な時間となりました。

共に成長できる様々な国の友人に出会えたことも留学で得た大切な財産のひとつです。韓国人はもちろん、同じく留学に来た各国からの友人たちと知り合って一緒にご飯を食べたり遊んだりした時間は何よりもの思い出です。今でも連絡を取り合いお互いの国に行った際には会っています。世界に人脈を広げられたことは大きな成果だと感じています。そして、多様なバックグラウンドを持った人達の文化や価値観を知り、物事に対しての自分の視野が広がったと思います。将来の目標や私たちが生きる社会についての考えに刺激を受け、自分を見直す機会にもなりました。

留学では、様々な手続きから海外での生活まで多くのことが初めてで大変な時もありましたが、留学させてくれた両親や、国際交流課の方々、先生方、現地でサポートしてくれた学生など多くの方のおかげで充実した留学生活を送ることができました。今後は韓国語や留学の経験を活かし、グローバルな人材として活躍することを目標にしたいです。

地域交流活動の紹介

地域交流センターでは、大学と地域社会のつながりや交流を促進する取り組みを行なっています。地域のお祭りやイベント、ワークショップ、ボランティア活動への参加等、多くの学生が様々なフィールドで活躍しています。ここでは、地域交流センターの活動をまとめた各種刊行物や、最近の学生活動を取り上げてご紹介します。

地域交流センター年次報告書５

ゆかり

2023（令和５）年度の活動をまとめた地域交流センター年次報告書『ゆかり』を刊行しました。今号で５回目の刊行となります。2023（令和５）年度は、コロナ禍において一度は休止していた活動が再び動き出し「地域交流活動の再開期」となりました。そんな１年間を振り返り、特集「アフターコロナにおける地域交流活動」では、各地で展開された様々なゼミ活動等を紹介しています。また、文京区本郷にある菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）で活動する学生団体『跡見「学芸員」in 菊坂』が実施した企画展の様子も掲載しています。

教員・学生が、多方面で地域活性化や地域課題に取り組む姿を記録しています。ぜひご覧ください。

（データ版はこちら）

地域交流センターブックレット第４号
地方を盛あげ隊！
～文京区学生による盛岡アグリイノベーション～

2023年（令和５）年７月に実施した地域交流センター主催シンポジウム「地方を盛あげ隊！～文京区学生による盛岡アグリイノベーション～」の講演録と関連した催しの内容をまとめたブックレットを刊行しました。本シンポジウムは、跡見学園女子大学・文京区・岩手県盛岡市の包括連携協定や友好都市盟約に基づき、都心の大学生（跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学学生）が地方創生や、農業振興策を考える事業を契機として実施したものです。本学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科（現・まちづくり学科）の学生２名が登壇し、発表した様子も掲載されています。

（データ版はこちら）

学生デザインによる「菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）」パンフレットが完成

跡見学園では2015（平成27）年に、文京区本郷にある「旧伊勢屋質店」を取得しました。現在は「菊坂跡見塾」と名付け、一般公開を行うなど、教育研究活動の一環として文化財保護に取り組んでいます。

この菊坂跡見塾を拠点として『跡見「学芸員」in 菊坂』という学生団体が活動しています。菊坂跡見塾に残る質屋台帳や生活用具の調査、地域住民向けイベントの企画運営など、活動内容は多岐にわたります。

今回、『跡見「学芸員」in菊坂』メンバーの文学部人文学科４年長根旭美さん、同学科２年梅原菜摘さんがデザインしたパンフレット「菊坂さんぽのしおり」が完成しました。「文豪さんぽ道」をコンセプトとし、菊坂にゆかりのある文豪や、周辺のお勧め飲食店を紹介しています。表紙に登場する女子学生風キャラクターは長根さんがデザインし、文章は梅原さんが担当しました。魅力溢れるパンフレットとなっています。

このパンフレットは、文京ふるさと歴史館などで配布しています。ぜひパンフレットを手に、菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）や周辺の街並み散歩をお楽しみください。

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）キャラクターデザインコンテストで跡見学生が最優秀賞を受賞

本学は、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（以下、TJUP）に加盟し、全学的に産学官民連携の取り組みを推進しています。TJUPは、埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携し「多様な高等教育の提供」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を目指し活動しているプラットフォームです。

この度、TJUPで行われた「キャラクターデザインコンテスト」で心理学部臨床心理学科２年岡野莉子さんがデザインしたキャラクターが見事、最優秀賞に輝きました。

同コンテストは、TJUPの認知度向上や地域の皆さまに親近感をもってもらうことを目的とし、TJUP会員による一次審査、TJUPランド～こどもフェスタ～（子ども向け地域活性化イベント）参加者の一般投票による二次審査を経て、最優秀賞１作品、優秀賞２作品が選ばれました。2024（令和6）年５月31日、大東文化大学にて表彰式が行われました。今後、このマスコットキャラクターがTJUP活動促進の一翼を担います。

＜岡野莉子さんのコメント＞

「希望」「期待」「かなえられた希望」「豊かな希望」などの花言葉を持つレンギョウをモチーフにしました。多様な高等教育や住み良い地域づくりを目指すTJUPの明るい未来のイメージに合っていると思い、レンギョウを選びました。また、耳にTJUPのロゴのデザインを取り入れています。TJUPの今後の発展を祈って、デザインしました。マスコットキャラクターをデザインする楽しさを知ることができて、とても楽しかったです。

左：小仲学長　中央：岡野さん
右：土居地域交流センター長

最優秀賞となった
マスコットキャラクター

地域交流センター公式Ｘのお知らせ

地域交流センター公式Ｘでは、学生の地域交流活動の様子や、イベント情報などを日々発信しています。
跡見の地域交流活動に興味のある方は、ぜひフォローをお願いします。

学生会情報

学生会本部　会長　**坂本　彩乃さん**

ごきげんよう。まぶしい日差しが照りつけるこの頃、皆様お元気でお過ごしでしょうか。この度、2024（令和6）年度学生会本部会長に就任しました、マネジメント学部マネジメント学科3年の坂本彩乃と申します。1年間よろしくお願いいたします。

学生会本部では、2024（令和6）年4月8日に新入生歓迎会を行いました。今年度は午前・午後の2部制で実施し、たくさんの新入生をお迎えすることができました。あいにくのお天気ではありましたが、各団体や新入生の皆様のおかげで、とても賑やかな新入生歓迎会となりました。当日は花蹊メモリアルホールで各団体の紹介を行い、グリーンホールで各団体の個別相談会を行いました。学生会本部では、団体の活動内容の説明や質問を受け付けた他、個別相談会にて履修登録の相談も行いました。はじめての履修登録に不安を感じている方や、委員会やサークル、クラブ活動に興味のある方など、たくさんの新入生に足を運んでいただき、素敵なコミュニケーションの場となりました。

学生会本部では、今後も様々なイベントを予定しています。昨年度に引き続き、今年度も予定しているテーブルマナー講習会では、秋頃に洋食テーブルマナー講習会、年明けに和食テーブルマナー講習会を2回開催予定です。どちらも美味しいお料理を楽しみながらテーブルマナーを学んでいただける特別な機会となっております。学生会本部一同、精一杯準備しておりますので、どうぞご期待ください。

また、2024（令和6）年10月26日・27日の2日間、紫祭（大学祭）を新座キャンパスにて開催します。学生会本部では、他大学と合同での模擬店出店や、学生参加型のファッションショーを行う予定です。ファッションショーは学生からの要望があり、久しぶりに開催することにしました。皆様に楽しんでいただける企画を多数ご用意しておりますので、是非お越しください。

学生会本部では、皆様が学生生活を快適に過ごしていただけるよう、サポートをしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

CLUB NOW

写　真　部

部長　**伊藤　碧さん**

ごきげんよう。写真部です。私たちは1年を通して撮影会や展示会、合宿等の活動を行っています。撮影会は月1回のペースで行っており、浅草や上野、鎌倉など様々な場所へ遠征し写真を撮影しています。部員同士でアイディアを出し合い、紫祭や外部の展示スペースを借りて展示会を行っています。合宿では展示会に向けて撮影をするほか、部員同士の仲を深めています。カメラの機種に制限はなく、本格的なカメラで撮影を楽しむ人も、スマートフォンなどで気軽に撮影を楽しむ人もいます。また、すべての活動は自由参加となっており、部員たちは予定が合う活動にそれぞれ参加しています。そのため、カメラを本気でやりたい方も、気軽にやりたい方も、他にやりたいことが沢山ある方や、勉学とうまく両立させたい方なども大歓迎です。

写真部に興味があるという方は、写真部のX（旧Twitter）またはインスタグラムにご連絡ください。（X…@photo_atm、インスタグラム…@_photo_atm）

部員一同お待ちしております。

就職部での取り組みについて（1・2年生対象プログラムのご紹介）

就職部では、学生の皆さんが早い段階で自身のキャリアについて意識し、将来の目標に向かって邁進できるように、新座キャンパスの1・2年生対象の企画を多数用意しています。毎学期オリエンテーション時に実施する進路ガイダンスや2年次秋学期に全学生対象に実施する進路調査面談の他、なんでも相談会・個別相談会やインターンシップ、公務員、教員、大学院等テーマ別の各種セミナー、プレキャリア講座といった多様なプログラムを開催します。夏には、就職活動に向けて、まずは社会人がどのように働いているのか、1、2年生が実際に企業を訪ねてお話を聞くことで具体的なイメージを持てるようにする『社会人インタビュー』を予定しております。学生の皆さんが、様々な活動や経験を通じて、将来に向けて自分自身を磨くきっかけとなる就職部のプログラムをぜひご活用ください。

なんでも相談会・個別相談会の様子

2023（令和5）年度就職活動総括と今後

就職部長　石渡　尚子

＜2023（令和５）年度 就職活動の総括＞

本学における令和５年度就職実績は、昨年に引き続き求職率が上昇し、91.3％という高い数値となりました。これは、早い段階から自身のキャリアについて考え、就職活動に積極的に励もうという本学学生の意識の現れと評価できます。令和５年度（2024年卒）の企業の採用活動は従来に引き続き、形式上は「広報活動開始3月」「選考活動開始6月」というスケジュールでスタートしましたが、実際には２月までに内々定を得ている学生もおりました。本学への求人数は前年度を大きく上回り、企業の採用意欲が回復した１年だったと言えます。多くの企業がインターンシップや1dayの仕事体験などを実施することで、早い時期から企業と学生が接触する機会も増えました。コロナ禍において定着したWeb面接やオンライン説明会は、依然として多くの企業で行われており、就職活動や採用手法の形態そのものが多様化してきています。

2023（令和５）年度卒業生の就職実績　単位（人）

学部	学科	卒業者数	求職者数	求職率	就職者数	就職率
	人文	168	157	93.5%	154	98.1%
	現代文化表現	129	114	88.4%	113	99.1%
	コミュニケーション文化	112	101	90.2%	99	98.0%
	臨床心理	2	2	100.0%	1	50.0%
文学部	**計**	**411**	**374**	**91.0%**	**367**	**98.1%**
	マネジメント	209	198	94.7%	196	99.0%
	生活環境マネジメント	87	85	97.7%	84	98.8%
マネジメント学部	**計**	**296**	**283**	**95.6%**	**280**	**98.9%**
	観光デザイン	140	133	95.0%	132	99.2%
	コミュニティデザイン	87	83	95.4%	82	98.8%
観光コミュニティ学部	**計**	**227**	**216**	**95.2%**	**214**	**99.1%**
	臨床心理学科	123	92	74.8%	91	98.9%
心理学部	**計**	**123**	**92**	**74.8%**	**91**	**98.9%**
全学合計		**1,057**	**965**	**91.3%**	**952**	**98.7%**
参考	前年度全学合計	1,124	1,012	90.0%	993	98.1%

①就職率…就職希望者に占める就職者の割合
②求職者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者（就職希望者）なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない
③就職者…正規の職員（１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者
④調査時点は令和６（2024）年５月１日現在

＜2024（令和６）年度 就職活動の見通し＞（2024年５月１日現在）

「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）の改正により、令和６年度以降の卒業生を対象とした、令和５年度以降に実施するインターンシップについては、一定の要件を満たせば、学生の情報を広報活動・採用選考活動の開始後に使用することが可能となりました。そのため、令和６年度（2025年卒）の企業による採用活動は、インターシップからの選考等、更なる早期化が進行するものと予想されます。就職部では、学生が、自分の活動状況に合わせて必要な時に必要な情報が得られるよう、各セミナーをオンデマンド配信するとともに、本番に向けた実践に近い形式の対面プログラムも開催するなど、Webと対面の特長を活かした多様なプログラムを用意しております。また、就職支援プログラムのスケジュールを全面的に前倒しし、従来、３年次春学期に全学生を対象に実施していた求職登録面談も、学生が自身のキャリアについて早い段階から意識するよう、２年次秋学期に早めて実施しました。

株式会社キャリタスが2025年３月卒業予定の大学４年生を対象に実施した就職活動調査（回答数：1,185人）によると、５月１日時点での内定率は76.9％で、昨年同期（70.2％）を大きく上回っており、就職活動終了者は全体の42.2％に及びます。調査時点で内定を得ていない学生のうち、「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」の54.7％と「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」の13.5％を合わせた68.2％の未内定者はまだまだこれからといった状況です。

現在、就職活動を継続中の４年生の皆さんは、焦らず、納得できるまで、自分のペースで活動を続けましょう。本学への求人はこれから先も途絶えることはありません。困ったことがあれば、いつでも就職課へ相談に来てください。また、３年生の皆さんが活動する2025年度以降も、引き続きインターンシップからの選考をはじめとして、就職活動全般の一層の早期化が見込まれます。今から着々と準備を進めておきましょう。

就職活動は低学年のうちから情報感度を高め、早めに行動していくことが大切です。自分は将来何をしたいのか、どのような社会人になりたいのかを１～２年次から意識して大学生活を過ごしましょう。そして、自分らしい自己実現と社会貢献ができる道を探していきましょう。

2024（令和6）年度入試総括

入試部長　照井　和尋

本学における2024（令和6）年度入試は大変厳しい結果となりました。

志願者は総数1,454名と、前年の2,079名を大きく下回る結果となりました。学部別の志願者数では、文学部593名（前年比67.9％）、マネジメント学部343名（同63.5％）、観光コミュニティ学部262名（同80.4％）、心理学部256名（同75.3％）となっており、いずれの学部においても厳しい結果となっています。

2021（令和3）年度以降、4年連続の志願者数減の原因としては、外部環境の変化が挙げられます。2023（令和5）年度入試から文部科学省の補助金支給基準が入学定員ベースから収容定員ベースに変更され、大規模私大が合格者を増やし、その結果、中堅以下の私大の年内入試での入学者確保が急速に進んだこと、また、受験人口の減少が進む中、上位大学においても年内入試の強化、特に指定校推薦入試の枠の拡大や評定基準の緩和など、本学より上位の大学に合格しやすい状況が生まれました。

加えて、近年の女子大学をめぐる環境の変化からも大きく影響を受けています。受験生の女子大離れが進み、女子大の存在意義そのものが問われる中、共学志向の流れが定着しつつあります。

本学でも、2024（令和6）年度入試では入試対策を中心に入学者確保の主な施策として、近年の受験生の年内入試志向を鑑みた入試区分別募集人員の変更、学校推薦型選抜の評定基準の見直し（緩和）及び指定校の拡大、一般選抜の入学手続における二段階納入方式の導入（対象：一般入試A日程及び大学入学共通テスト利用入試（Ⅰ期））、予備日程を利用した大学入学共通テスト利用入試（Ⅳ期）の実施などを行いました。

また、オープンキャンパスについては、来場者の満足度のさらなる向上を意識した上で、企画内容を見直しました。

2025（令和7）年度入試においては、近年の受験生の年内入試志向を鑑み、総合型選抜・学校推薦型選抜の充実を図ります。また、受験生の多様化に伴い、新たな入試制度の導入など、入試制度の充実を図るとともに、本学の学びと入試へのご理解をより深めていただけるよう、受験生や高等学校の先生方へ積極的に働きかけていく所存です。

2024（令和6）年度のオープンキャンパス企画については、受験生の早期確保に向けた年度前半の実施回数増、目的特化型イベントの開催回数増（ミニオープンキャンパスとして13回開催）とする予定です。また回数だけでなく、内容の充実化に向け、実施時期ごとの目的･テーマを明確にし、オープンキャンパスとミニオープンキャンパスの継続性・連動性を重視した企画内容とします。さらに、本学の学びの特色を受験生に訴求する企画内容とし、受験生の進路選択の早期化に伴い、入試対策講座の開催時期を早めます。

女子大学における学生募集は、今後も困難が続くと考えられます。入試部では本学の更なる発展を目指し、学生募集活動の強化を続けてまいります。今後もご支援のほどよろしくお願い申しあげます。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の**三親等以内の方**を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対　象　本学在学生の姉妹および学園卒業生の**三親等以内の方**

試験日程　（Ⅰ期）出願期間：2024(令和6)年11月 1 日(金)～11月8日(金)締切日消印有効
試 験 日：2024(令和6)年11月17日(日) 文京キャンパス

（Ⅱ期）出願期間：2024(令和6)年11月25日(月)～12月9日(月)締切日消印有効
試 験 日：2024(令和6)年12月15日(日) 文京キャンパス

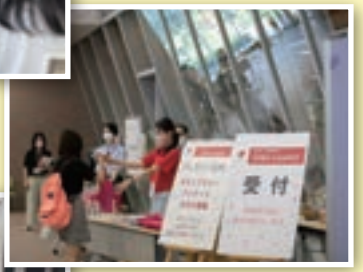
＊入学金については、**半額免除**いたします。
＊評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。
＊出願をご希望の方は、一度入試課（TEL：048-478-3338）までご連絡ください。

Open Campus　オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる企画を用意しています。

また、ミニオープンキャンパスでは目的特化型のイベントや、部活動・お仕事の後にお越しいただけるナイト説明会を開催しています。

ぜひご参加ください。



入試イベント　事前登録推奨

Open Campus

7/21（日）【文京キャンパス】	8/18（日）【文京キャンパス】	10/26（土）【新座キャンパス】※紫祭同時開催	10/27（日）【新座キャンパス】※紫祭同時開催

Mini Open Campus

8/3（土）探究ワークショップ【文京キャンパス】	8/4（日）探究ワークショップ【文京キャンパス】	8/24（土）大学見学会【新座キャンパス】	9/7（土）総合型選抜対策セミナー【文京キャンパス】
10/1（火）ナイト説明会【文京キャンパス】	11/2（土）学校推薦型選抜対策セミナー【文京キャンパス】	11/26（火）ナイト説明会【文京キャンパス】	12/17（火）ナイト説明会【文京キャンパス】

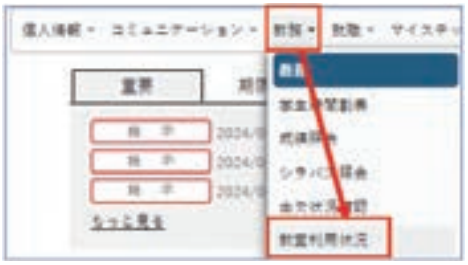
＊実施予定企画
大学説明／入試説明／入試対策講座/体験授業/教員･学生との個別相談／キャンパスツアー／　等
＊詳細は、HPにてご確認ください。
その他、入試に関するお問い合わせは
入試課(TEL:048-478-3338)までお願いいたします。

情報メディアセンターからのお知らせ

◆ポータルの教室利用状況確認が便利になりました!

これまで新座キャンパスのみポータルの教室利用状況確認が可能でしたが、今年度から両キャンパスの利用状況を確認することができるようになりました。自分のPCをWi-Fiに繋いで自学自習をしたい、オンライン授業を受けたいけれども空いている教室がわからない…という時にポータルですぐに確認ができます。また、スマホ用サイトでも確認ができるようになりましたので、ぜひ活用して下さい。
※ただし各学期の授業開始後約１か月間は利用できません。

【PC用サイト】



【スマホ用サイト】

詳細はポータルマニュアル「教室利用状況」のページを確認してください。

図書館トピックス

「プロゼミⅠ」の授業で大学図書館オリエンテーションを実施しました！

1年生の必修科目「プロゼミⅠ」の授業では、大学図書館の利用法を学ぶことになっており、今年度も4月23日から5月28日までの約1カ月間、39クラスある「プロゼミⅠ」の全てのクラスの授業にて、各1回ずつ大学図書館のオリエンテーションを実施しました。

内容は、図書館案内動画の視聴や、OPACによる実習で、実習では課題シートを元に、学生がOPACで本の所在を検索し、実際に書架から本を取り出す作業を体験しました。

今後の大学図書館オリエンテーションでは、学年がアップするのにともない、各種データベースの検索等も含めた「学修支援プログラム」を各専門ゼミなどで実施していくことになります。

2023（令和5）年度 第56期卒業生の記念品寄贈について

2023（令和5年）度第56期卒業生より、卒業記念品として「傘のしずくとり器」を頂戴しました。文京キャンパス3号館1階入り口に設置しています。大切に使わせていただきます。

本学の正規授業を受けてみませんか？ 「科目等履修生のご案内」

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合には正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円／1学期、及び科目等履修料10,000円（卒業生は5,000円／1単位）となっています。

秋学期の募集案内は大学のホームページにて掲載します。詳しくは、教務部教務課へお問い合わせください。
e-mail　d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp　電話番号　03-3941-7420（文京キャンパス）

◆ 2024（令和6）年度 行事予定 ◆

7月	9日(火)･10日(水)･18日(木)～20日(土)･22日(月)	授業評価期間
	15日(月)	祝日授業実施日
	16日(火)	振替休日(7月15日分)
	17日(水)･31日(水)	補講日
	22日(月)	通常授業終了
	23日(火)～29日(月)	春学期定期試験期間
	30日(火)	春学期定期試験予備日･追試験日
8月	1日(木)～31日(土)	夏季休業(集中講義等あり)
9月	2日(月)～14日(土)	補講期間(集中講義等あり)
	17日(火)～19日(木)	秋学期オリエンテーション期間
	18日(水)･19日(木)	秋学期1次履修登録申請期間
	20日(金)	9月期卒業式
	21日(土)	秋学期1次履修登録状況(抽選結果)発表
	24日(火)	秋学期通常授業開始
	24日(火)･25日(水)	秋学期2次履修登録申請期間
	27日(金)	秋学期2次履修登録状況(抽選結果)発表
	28日(土)･30日(月)	履修登録訂正期間(窓口受付)
10月	14日(月)	祝日授業実施日
	15日(火)	振替休日(10月14日分)
	24日(木)･25日(金)	紫祭準備日
	26日(土)･27日(日)	紫祭
	28日(月)	紫祭後片付け日
11月	4日(月)	祝日授業実施日
	5日(火)	振替休日(11月4日分)
12月	13日(金)～20日(金)	卒論提出期間
	24日(火)	土曜授業実施日
	25日(水)～1月4日(土)	冬季休業
1月	6日(月)	通常授業開始
	8日(水)	創立記念日(休講)
	17日(金)	大学入試共通テスト設営日(休講)
	18日(土)･19日(日)	大学入学共通テスト(休講)
	15日(水)･16日(木)･20日(月)･21日(火)･24日(金)･25日(土)	授業評価期間
	22日(水)･23日(木)	補講日
	25日(土)	通常授業終了
	27日(月)～2月1日(土)	定期試験期間
2月	7日(金)･8日(土)	定期試験予備日･追試験日
	4日(火)～6日(木)･10日(月)～28日(金)	補講期間(集中講義あり)
3月	1日(土)～31日(月)	春季休業(集中講義あり)
	3日(月)	卒業発表
	10日(月)	進級発表
	18日(火)	卒業式

花蹊記念資料館コレクション

行書七言二句「数杯竹閣花残酒」

跡見花蹊（1840-1926）

紙本墨書・一幅

花蹊38歳の書。唐の詩人である李咸用*の七言律詩「友人と相遇うを喜ぶ　十首」中の四首目に配されたうちの第三・四句を書いたものです。全文を記しておきましょう。

不傍江烟訪所思　更応無処展愁眉　数杯竹閣花残酒　一局松窓日午棋
多病却疑天与便　自愚潜喜衆相欺　非窮非達非高尚　冷笑行蔵只独知

コロナ禍２年目、2021年秋に開催した「跡見花蹊とその遺産展Ⅲ」で初めてお披露目した作品です。ここで「初めて」と記したのは、本資料館の未整理資料箱から、近年になってこの作品がマクリの状態で発見され、それを軸装に仕立てたからです（『跡見学園女子大学花蹊記念資料館収蔵資料総合目録4』「発刊によせて」参照）。

「竹廬で残り少ない酒に杯を傾け、昼下がり　松の枝が差し込む窓辺で囲碁に興じる」長閑に過ごす日常の一場面が想像されますが、次に続く「多病・自愚・冷笑」などの語句によってこの情景は一変します。

花蹊が後半の句を承知していたかというと、おそらくそうではないでしょう。原文では「松窓」とあるところを、花蹊は「松陰」と書いています。調べて見ますと、文化11（1814）年に刊行された漢詩文集『嚢中錦心』（『墨場必携』の類）には「松陰」とあります。さらに花蹊が手控えとしていた『揮毫雑記』（明治11年８月10日の欄）に「龍向池中躍起　鳳従天外飛来」と「数杯竹閣花残酒　一局松陰日午棋」を揮毫したことを記しています。この前者の句も『嚢中錦心』に採用されています。このことから、花蹊が拠り所としたのは『嚢中錦心』だった可能性が高いといえます。ちなみに款記に「戊寅（明治11年）秋八月」とあることから、当該作品は『揮毫雑記』に記されていた時期のものと考えられます。

この書は重厚な筆致で一気通貫しています。京都で培った流麗瀟洒な書風から骨力を重視する晋唐の筆法へ脱皮する壮年期の書と位置づけてよいでしょう。

＊李咸用：唐末の詩人。生卒年未詳。唐末の乱離に遭遇し、官途に達せず、廬山などに寓居した。失意のうちに詠んだ詩が少なくない。

（花蹊記念資料館長　横田恭三）

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介しています。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信しています。

Instagram
跡見学園女子大学
Atomi University（atomiuniv）

YouTube
跡見学園女子大学広報

X
跡見学園女子大学
（@Atomi_univ）

LINE
跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C004782

跡見学園女子大学学報　第107号

発行日　2024（令和6）年7月15日
発　行　跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687　東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03（3941）7420
URL　https://www.atomi.ac.jp/univ/